

病害虫発生予察情報
9 月月報

令和 6 年 10 月 21 日
東京都病害虫防除所

1 気象概況（東京都・東京管区气象台提供）

2024年 9月	気温（℃）						降水量		日照時間	
	最高		最低		平均		（mm）		（h）	
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年比	本年	平年比
								（％）		（％）
上旬	32.8	3.1	23.7	2.2	27.5	2.3	11.0	13.8	80.6	166.9
中旬	34.2	6.4	24.5	4.8	28.4	5.0	14.5	16.8	77.8	178.9
下旬	26.4	1.2	20.1	2.9	22.9	2.1	12.0	14.6	14.1	36.6
平均	31.1	3.6	22.8	3.3	26.3	3.1				
合計							37.5	15.1	172.5	132.4

※ 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所
※ 平年差（比）：平年値（1991～2020 年の平均値）からの差（比）

上旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、期間のはじめに台風第 10 号を回る湿った空気や前線の影響で曇りや雷雨の日もあった。
中旬：高気圧に覆われて晴れの日が多くなったが、前線や湿った空気の影響で雨や雷雨となる日があり、特に 15 日には大雨となった。期間を通して暖かい空気に覆われたため気温のかなり高い日が続いた。
下旬：低気圧や前線、湿った空気の影響で曇りや雨の日が多くなった。

2 作物生育概況

（1）イネ

20 日ごろから収穫が始まり、作柄は平年並であった。

（2）野菜

果菜類：生育はおおむね平年並であるが、トマトの一部に高温障害、イチゴに花芽分化の遅れが見られた。
葉菜類：生育はおおむね順調であったが、一部で豪雨の影響により病害が発生した。
根菜類：豪雨の影響で一部に発芽不良、流亡等が発生したが、生育はおおむね順調であった。
イモ類：生育は順調で、収量は平年並であった。

（3）果樹

農林総合研究センター果樹圃場（灰色低地土）における主要品種の収穫期と平年差（カッコ内）は以下のとおり。
ブドウ：‘巨峰’の収穫終わりは6日遅かった。
‘巨峰’収穫終 9月26日（＋6日）

ナシ：収穫終わりは、‘幸水’で1日、‘豊水’と‘稲城’で2日早かった。

‘幸水’収穫終 8月30日（－1日）

‘豊水’収穫終 9月13日（－2日）

‘稲城’収穫終 9月6日（－2日）

（4）茶樹

生育はおおむね例年どおりだが、暑さのせいかな新芽の出芽が脇から多くなっており例年と異なる。

3 病虫害の発生概況

（1）イネの病虫害

いもち病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
紋枯病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ニカメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
イネツトムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ツマグロヨコバイ	< 並 >	発生は平年並であった。
セジロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
トビイロウンカ	< 少 >	発生は少なかった。
コブノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
斑点米カメムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

（2）果樹の病虫害

ナシ

黒星病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハダニ類	< 少 >	発生は少なかった。
ナシヒメシンクイ	< 並 >	発生は平年並であった。

果樹共通

カメムシ類	< 並 >	発生は平年並であった。
-------	-------	-------------

（3）茶樹の病虫害

炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
チャノコカクモンハマキ	< 並 >	発生は平年並であった。
チャハマキ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
カンザワハダニ	< 少 >	発生は少なかった。

（4）野菜の病虫害

トマト

黄化葉巻病	< 並 >	発生は平年並であった。
モザイク病	< 少 >	発生は少なかった。
コナジラミ類	< 並 >	発生は平年並であった。

キュウリ（施設）

うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
褐斑病	< 少 >	発生は少なかった。
べと病	< 少 >	発生は少なかった。

ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
トマトハモグリバエ	< 多 >	発生は多かった。
ナス		
うどんこ病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アザミウマ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。
チャノホコリダニ	< 多 >	発生は多かった。
キャベツ		
黒腐病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
タバコガ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ネギアザミウマ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
コマツナ		
炭疽病	< 少 >	発生は少なかった。
コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ダイコン		
軟腐病	< 少 >	発生は少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
アブラナ科野菜共通		
キスジノミハムシ	< 少 >	発生は少なかった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ハイマダラノメイガ	< 並 >	発生は平年並であった。
ハウレンソウ		
べと病	< 少 >	発生は少なかった。
シロオビノメイガ	< 少 >	発生は少なかった。
ネギ		
黒斑病	< やや多 >	発生はやや多かった。
さび病	< 少 >	発生は少なかった。
ネギアザミウマ	< 並 >	発生は平年並であった。
ネギハモグリバエ	< 並 >	発生は平年並であった。
ヨトウムシ類	< 少 >	発生は少なかった。
ニンジン		
うどんこ病	< 少 >	発生は少なかった。
キアゲハ	< 少 >	発生は少なかった。
サツマイモ		
イモキバガ	< 少 >	発生は少なかった。
ナカジロシタバ	< 少 >	発生は少なかった。
ハスモンヨトウ	< 少 >	発生は少なかった。
野菜共通の病害虫		
ハモグリバエ類	< 並 >	発生は平年並であった。
アブラムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ハスモンヨトウ	< 並 >	発生は平年並であった。
タバコガ類	< 少 >	発生は少なかった。

ハダニ類	< 並 >	発生は平年並であった。
ネキリムシ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(5) 花きの病害虫

シクラメン

灰色かび病	< 少 >	発生は少なかった。
ホコリダニ類	< 少 >	発生は少なかった。

(6) 島しょの病害虫

小笠原：父島のレモンでハモグリガ類とサビダニ類の発生がやや多かった。
その他の地域では多発生の病害虫は認められなかった、

4 侵入調査

ウリミバエ	< 誘殺なし >	
クインズランドミバエ	< 誘殺なし >	
チチュウカイミバエ	< 誘殺なし >	
ミカンコミバエ種群	< 誘殺なし >	
トマトキバガ	< 誘殺あり >	*10月11日付特殊報第1号発表

病害虫防除所ホームページ

<https://www.sangyo-rodo.metro.tokyo.lg.jp/nourin/shoku/anken/boujyo/>

病害虫の発生予察情報、発生状況、防除方法、
防除のポイントなどをお知らせしています。